

4 事業の評価

評価基準

[妥当性]事業のニーズはあるか					減少している
[妥当性]事業手段は妥当か					見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か					市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	見直しが必要

「妥当性」、「有効性」、「効率性」の3つの視点からの事業の評価(点検)を行っています。該当するところに“○”を表しています。

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

今後の事業の方向性について、「事業内容の方向性」と「コスト投入の方向性」から担当課が評価を行い、1箇所“○”を表しています。

担当課評価の根拠

上記の「今後の方向性(担当課評価)」を決定した根拠を表しています。

「見直し」「改善」案

事業を実施する上でこれまで行った「見直し」「改善」や今後の「見直し」「改善」予定の内容を表しています。